

工業用水道管路の耐震化による工業用水の安定供給の確保

概要: 耐用年数を超過し、かつ耐震性を有していない管路を耐震性のある管路に更新したことで、令和7年青森県東方沖地震において最大震度5弱を観測したものの、管路の被害や断水等は発生しなかった。

対策名: 71 工業用水道の施設に関する耐災害性強化対策<5か年加速化対策>【経済産業省】

- 実施主体: 北海道企業局
- 実施場所: 北海道苫小牧市
- 事業概要: 耐震性を有しておらず、耐用年数も超過している管路を耐震管に更新を行うことで、大規模災害の被害に備える。
- 事業費: 64億円(平成29年度～令和9年度)
(うち5か年加速化対策(加速化・深化分)32億円)
- 災害の外力、被害と効果:

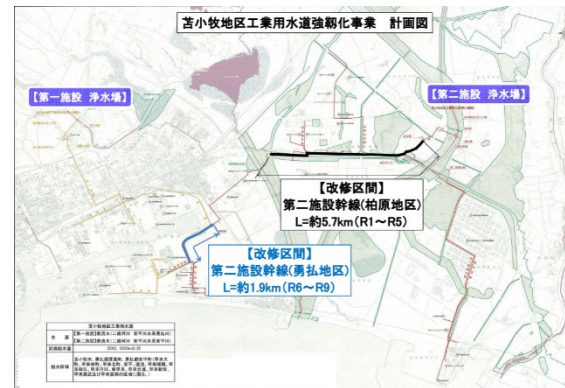
令和7年12月8日に青森県東方沖で発生した最大震度6強(北海道苫小牧市・厚真町で5弱)の地震において、耐震管へ更新していたことにより、漏水被害等の発生を防ぐことが出来、工業用水の安定供給が確保された。

平成30年度の胆振東部地震では、最大震度5強(苫小牧市)、最大震度7(厚真町)が観測され、断水はなかったものの漏水は3箇所あった。

■ KPI状況の比較(令和6年度時点)

- 工業用水道の基幹管路の耐震適合率<全国>: 50%
- 北海道企業局における管路の耐震化率: 65%

強靱化事業 計画図 (北海道苫小牧市)



前回災害による漏水事故 (平成30年度 胆振東部地震)



耐震管への更新状況

